

## 平成 24 年 7 月 23 日放映のテレビ報道に関する見解について（第 2 報）

このたび平成 24 年 7 月 23 日、某放送局の番組の中において、大腸内視鏡検査に関して「痛い、恥ずかしい、時間がかかる」イメージがあるという表現がなされ、それに対比する形で当センターでの大腸 CT コロノグラフィ検査が紹介されました。当該報道は、視聴者に対して、あたかも「大腸 CT コロノグラフィが、大腸内視鏡検査よりも優れており、大腸 CT コロノグラフィを強く推奨する」という印象を与えかねない内容となっております。

これは当センターの本意とするところではなく、遺憾に存じております。大腸内視鏡検査は、その精度および受容性の高さからも大腸検査の標準的検査法のひとつであります。国民の皆さまには、その点をぜひご理解をいただき、大腸検査に際して適切な受診をしてくださいますようお願いいたします。

当該放送局より適切な情報を発信すべく対応がなされる回答がなされていることをご報告いたしますとともに、当センターとしても適切な情報発信がなされるよう、今後も取材等において細心の注意をしてみている所存です。

平成 24 年 8 月 10 日  
国立がん研究センター  
広報室